令和 6 年度広島市スポーツ少年団初級ジュニア・リーダー養成講習会／リーダー研修会報告書

日時：令和 7 年 3 月 15 日(土)、16 日(日)　9 時～17 時
会場：安佐南区スポーツセンター　小体育室

3 月 15 日(土)、16 日(日)、安佐南区スポーツセンター小体育室にて「令和 6 年度広島市スポーツ少年団初級ジュニア・リーダー養成講習会」「令和 6 年度広島市スポーツ少年団リーダー研修会」を実施しました。

2 日間のプログラムで初級ジュニア・リーダーを養成するとともに、既にリーダー資格を保有する団員には研修として、運営（スタッフ）や各班のリーダーを経験することで自身のスキルアップを図る事業です。

初級ジュニア・リーダー養成講習会に 6 団から 22 人、リーダー研修会に 4 団から 12 人の参加があり、講師には広島市スポーツ少年団から杉元副本部長、岩田常任委員、恵谷常任委員にお越しいただき、指導いただきました。

3 月 15 日(土)

リーダーは 9 時に集合し、会場設営や受付を行いました。

講習会参加者は受付を済ませるとそれぞれの班に分かれて座ります。初めて顔を合わせる他の団員に緊張している様子でしたが、各班のリーダーが緊張をほぐそうと話しかけている姿が印象的でした。

10 時 30 分からは講習会の開始です。この講習会では司会・進行もリーダーが務めます。

まず、開講式では広島市スポーツ少年団の武田本部長から挨拶をいただいた後、参加者を代表し中野東正武会スポーツ少年団の梶本団員が「誓いの言葉」を述べました。

開講式終了後は最初の講義「スポーツ少年団とは、スポーツ少年団のリーダーとは」です。自分たちの所属するスポーツ少年団とはどういった団体なのか、自分たちの目指すリーダー像とはどういったものなのかを学びました。

（講義の様子）

（リーダーによるアイスブレイク）

（班に分かれて ACP を企画）

午後からは「ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）」について学びました。

まず、ACP についての講義を受け、その後のアイスブレイクでリーダーが企画した ACP のプログラムを実際に体験しました。みんなで一緒に体を動かすことで緊張もほぐれ、笑顔もこぼれていました。

1 日目の最後は班ごとに ACP を企画し、指導実践しました。班ごとに ACP のプログラムを考え、他の班の班員を指導対象に見立てて実践します。

プログラムを考える際には各班のリーダーが中心となり、班員から積極的に意見を求めながら、役割分担も考え、プログラムが楽しく、安全に実施できるよう話し合っていました。初めての指導実践で苦戦していたようです。

実践した後には「良かった点」「改善した方が良い点」をお互いに伝えあい、最後にリーダーからアドバイスをもらいました。

終了後、講習会参加者は解散となりましたが、リーダーは会場の撤去を行いました。

最後に反省会を行い、2 日目に向けて改善点等を話し合いました。

3 月 16 日(日)

（グループディスカッション）

（ブレインストーミングでまとめた意見の発表）

この日もリーダーは 9 時に集合し、会場設営や受付を行いました。

講習会参加者は 2 日目ということもあり、やはり前日に比べると表情が柔らかかったように感じました。

2 日目の最初は「グループディスカッション」について学びました。

まず、グループディスカッションをどのように進めるのか学び、「一度だけ時間を超えて戻ってこられるなら“過去”と“未来”どちらに行くべきか」の議題について実際にグループディスカッションを行いました。時間に制限がある中で意見を出しあい、結論まで出すのは難しかったかもしれませんが、どの班も上手にまとめ、理由と結論を発表してくれました。

続いて、「ブレインストーミング」について学び、「指導者に叱られた団員を元気づけるためのリーダーとしての対応」「集団になじめない団員へのリーダーとしての対応」「指導者の言うことを聞けない団員へのリーダーとしての対応」「活動中にみんなのやる気が感じられないときのリーダーとしての対応」の 4 つの議題について実際にブレインストーミングを行い、意見をまとめました。初めて体験する参加者も多く、最初は戸惑っていましたが、各班のリーダーが積極的に声掛けをし、徐々に意見が出るようになりました。最後には各班の代表者がまとめた意見を発表してくれました。

午後の部の最初は、先輩リーダーたちによる ACP を体験しました。安全面への配慮や声のかけ方など、参考にしたい部分がたくさんありました。

続いては、1 日目に引き続き班ごとに ACP を企画し、指導実践を行いました。前日同様、班ごとに ACP のプログラムを考えた後、他の班の班員を指導対象に見立てての実践でした。1 日目に指導した ACP 以外を指導すること、というルールがありましたが、1 日目に改善を求められた点や他の団の良かった点を取り入れ、さまざまな点に注意しながら実践できていました。

実践した後も前日同様に「良かった点」「改善した方が良い点」をお互いに伝えあい、最後にリーダーからアドバイスをもらうことで、学びを深めることができたようでした。

次のプログラムは、今年度の「ジュニア・リーダースクール」「シニア・リーダースクール」、昨年度の「日独スポーツ少年団同時交流」に参加したリーダーからの活動報告がありました。先輩リーダーがそれぞれ体験したこと、学んだことを聞き、リーダー活動に更に興味を持った参加者もいたようでした。

（リーダーによる ACP 体験）

（指導実践について良かった点をコメント）

最後は閉講式を行いました。講師からそれぞれ講評をいただいた後、安東スポーツ少年団の原田団員が参加者を代表し「お礼の言葉」を述べました。

（全員で集合写真）

終了後、講習会参加者は解散となりましたが、この日もリーダーは会場の撤去を行いました。

最後に反省会を行い、2 日間の反省を行いました。今回、初めてスタッフとして参加したリーダーや 1 日だけしか参加できなかったリーダーもおり、課題が残ったようですが、班員のことを考えながら活動した経験は、今後のリーダー活動に生かすことができるのではないでしょうか。

（リーダー集合写真）

広島市スポーツ少年団では、スポーツ少年団活動をより一層促進するため、リーダーとしての役割の理解や資質の向上を図ることを目的に日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、リーダー養成事業を実施しております

初級ジュニア・リーダーに認定された団員は次のステップとして、8 月に江田島で開催される広島県スポーツ少年団主催の「ジュニア・リーダースクール」に参加し、ジュニア・リーダー資格を取得することができます。また、ジュニア・リーダー資格保有者は更なるステップアップとして静岡県で開催される「シニア・リーダースクール」に参加し、シニア・リーダー資格を取得することができます。

その他、広島市スポーツ少年団に所属するリーダーの活動として、スキルアップ研修やリーダー会を運営しております。

リーダー養成事業については広島市スポーツ協会ホームページをご覧いただくか、事務局（082-243-0579）にお問い合わせください。